

## 令和5年度 神山小学校 学校評価アンケート結果のご報告

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育にご理解とご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、皆様にご協力いただいた学校評価アンケートの結果を報告いたします。この結果や児童・教員アンケート結果は、2月15日（木）に開催した学校運営協議会の場でも報告し、ご意見をいただきました。皆様からいただいたご意見を参考に、次年度に向けて準備をして参ります。今後ともご支援をよろしく申し上げます。

### 笑顔いっぱい 【みんなにやさしく、思いやりのある子を育てるために】

「(1) 学級が楽しいと言っている」「(8) 思いやりの心が育っている」「(11) 友達などの命を大切にしている」と言っている（資料1）では、保護者から高い評価をいただきました。児童アンケートの結果を見ても、「学校は楽しい」「人に親切にしたい」（資料2）と感じている児童の割合が高い結果となっています。掃除やペア読書など、ペア学年での交流や、学年によるスポーツ大会など、一人一人が認めあう温かい学年学級集団づくりを目指した活動に今後も取り組んでいきます。また、毎月のいじめアンケートの実施や、毎学期の担任との相談期間（ハートフルウィーク）を活用して、子どもの悩みや困りごとをいち早くつかみ、できるだけ早い段階で対応できるように取り組んでいます。

今後も、担任をはじめ多くの職員で連携して一人一人を見守り、どの子どもも笑顔で活躍できる学校づくりに努めていきます。

「(7) あいさつができています」（資料1）については、例年低い評価となり、神山小学校の課題となっています。しかし、児童アンケートの結果からは「進んであいさつができる」と答えている児童の割合は比較的高い状態を維持しています（資料2）。「子ども達はあいさつをしているつもりであっても、相手に伝わっていない」という実態が続いています。今後も子どもたちによるあいさつ運動を展開し、さらに「伝わるあいさつ」「応えるあいさつ」を子どもたちに意識させ、あいさつの大切さを伝えていきたいと思います。ご家庭、地域でのお声かけも引き続きお願いいたします。

### 元気いっぱい 【命を大切に、たくましく生きる子を育てるために】

「(4) 早寝・早起きの習慣」（資料1）に関連して、睡眠時間が8時間以上の児童が約5割いる反面、6時間以下である児童が1割近くいます。スマートフォンを使う時間については、平日で高学年の6割以上の児童が1時間以上利用しています。使用内容はメール、ライン、ネットゲーム、検索、音楽や動画等、多岐にわたり、SNSやメールで嫌な思いをした経験のある児童は6%ほどいました。各家庭で使用する際のきまりを決め

たり、フィルタリング機能を活用したりして、安全・安心なツールとして使用していただきたいと思います。

本年度も、中部中学校区で「あったか家族週間」を設定し、統一のスローガンである「情報モラル宣言！」を各家庭で確認する機会をもちました。「ゲームやスマホばかり操作するのではなく、家族で過ごすことも大切だと思った」「ネットは怖いこともたくさんあるので、もっと話し合ってみたい」など、ゲームをする時間やスマートフォン等の使い方（メディアコントロール）について家族で話題にすることができたことは、生活習慣を振り返るよい機会となっています。今後も家庭と協力しながら、規則正しい生活や、十分な睡眠時間の確保をめざしていきたいと思います。

保護者の「(12) 登校・下校時に交通ルールを守っている」のプラス評価は過去3年、減少傾向にあります。また、児童の「交通安全に気をつけていますか」のプラス評価も本年度微減の結果(資料2)となりました。地域の方より、「傘を振り回している」「石を蹴っている」などの心配をいただき、何度も注意を呼びかけてきました。今後も学校における定期的な登下校指導や交通安全の意識を高める呼びかけ、通学班への指導の充実を図っていききたいと思います。また、継続的に行っている交通安全にかかわる場面を取り入れたKYT(危険予知トレーニング)の授業や、朝の会や帰りの会の時間を利用した交通安全指導なども、心に響く指導となるよう工夫し、進めていきたいと思います。

地域・保護者の皆様には、日々、子ども見守り隊の活動や旗当番の活動により、子ども達の登下校を見守っていただき、本当にありがとうございます。今後も児童の登下校に対する見守り活動にご理解、ご協力をお願いします。

「(13) 積極的に学校公開を行っている」「(19) 学校行事や体験活動は心の成長に役立っている」(資料1)では、9割を超える保護者の皆様にプラスの評価をいただきました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、本年度の体育祭は、全校児童が一堂に会しての開催ができました。子ども達は、一生懸命練習に取り組んだことを、全校児童や保護者の前で堂々と演技することができ、心身ともに成長する姿を見せてくれました。全校開催について好評の意見を多くいただく一方で、種目が少なくさみしい、見ごたえのある種目がほしいという意見もいただきました。種目の内容や時間を工夫し、よりよい開催方法を考えていきたいと思います。

文化祭については、コロナ禍前に行っていた「作品展」及び「学習発表会」の開催ができました。「授業を公開してほしい」「全学年の作品展がみたい」等の意見もいただきました。来年度は今年度発表しなかった学年を学習発表会とし、再来年より全学年作品展および、各学級での授業公開とすることを考えています。

今後も、各種の教育活動において、開催方法の見直しや工夫をしていきたいと思います。

## 学びいっぱい 【自ら学び、考える子を育てるために】

「(2) 授業がわかりやすいか」(資料1)について、学校では学習指導要領に沿って、思考力を高める手立てを考え、授業を行っています。また、語彙力を高め、文型や話型を用いた発表を効果的に活用して授業を行うなど、表現力の育成をテーマに研究を進めました。

教師アンケートの「⑤評価結果を目標設定や指導に生かしていますか」、「⑧子どもの理解度や達成度を把握できていましたか」、「⑬現職教育のテーマを意識して授業実践をしていますか」の問いでは、9割を超えるプラス評価となり、全校統一したテーマや学年全体の課題に向け学習活動に取り組んでまいりました。一方でアンケートの「①補充学習」や「②発展的な学習」については、昨年度より低い評価となってしまいました。この反省を踏まえ、これからも教員同士で切磋琢磨しながら授業改善に努めていきます。

保護者アンケートの「(3) 家庭学習の習慣」(資料1)については、本年度も8割近くの保護者が「身につけている」との評価でした。教室を離れての各家庭における学習は、学校での学習以上に個に応じた支援が必要であると感じます。今後も家庭との連携を図りながら、発達段階や家庭環境に応じて、自分から学習に向かう習慣づくりを保護者とともに進めていきたいと考えます。

## 信頼される学校 【開かれた、信頼される学校づくりの推進のために】

「(13) と (14) の学校公開」(資料1)について、9割以上のプラス評価をいただきました。本年度はコロナ5類移行後、地区ごとの割り振り時間のない授業公開を行いました。毎回多くの保護者の皆様の参観をいただき、本当にありがとうございました。また、「混雑して授業風景が見られなかった」という意見もいただきました。開催方法や参観の仕方を含めて、学校公開を進めていきたいと思います。

「(16) わかりやすい情報発信」に関して、本年度も非常に高い評価をいただきました。学校ウェブページでは、毎日、本当にたくさんの方に閲覧いただき、ありがとうございます。これまで同様、学校ウェブページやtetoruでの配信を中心に情報発信に努めていきますので、よろしくお願いいたします。

### <おわりに>

本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今までの行事や学校生活の仕方を見直しつつ、効果的な教育活動の実現へ向け取り組んでまいりました。今回いただいた評価やご意見を今後の教育活動に生かしていきたいと思います。そして、これからも、教師が子どもたち一人一人としっかり向き合い、心身ともに健やかに育つよう努めていきます。これからもご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

資料1 <保護者アンケートの3年間の比較>

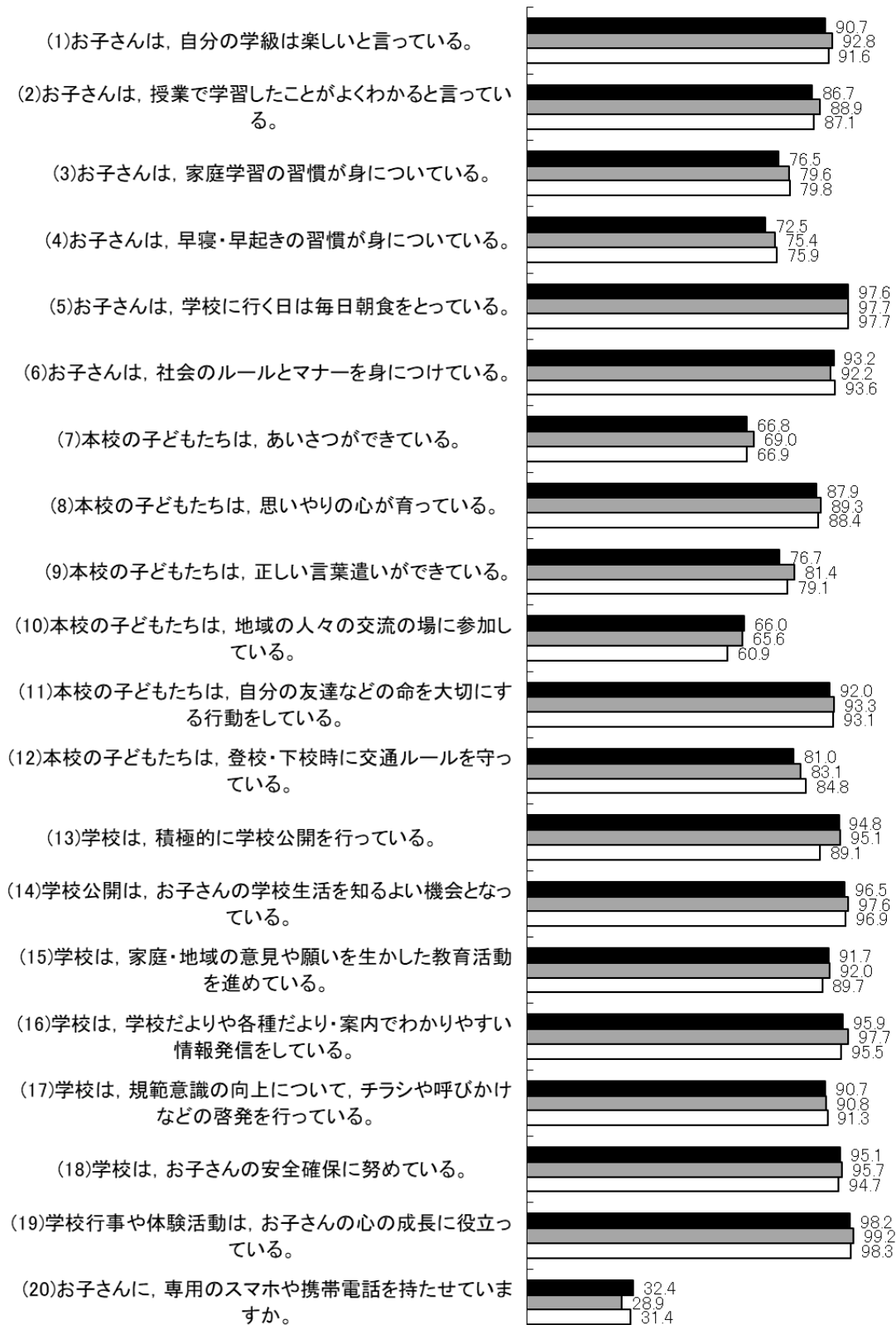
保護者アンケートの3年間の比較(プラス評価の合計: %)

上から順に

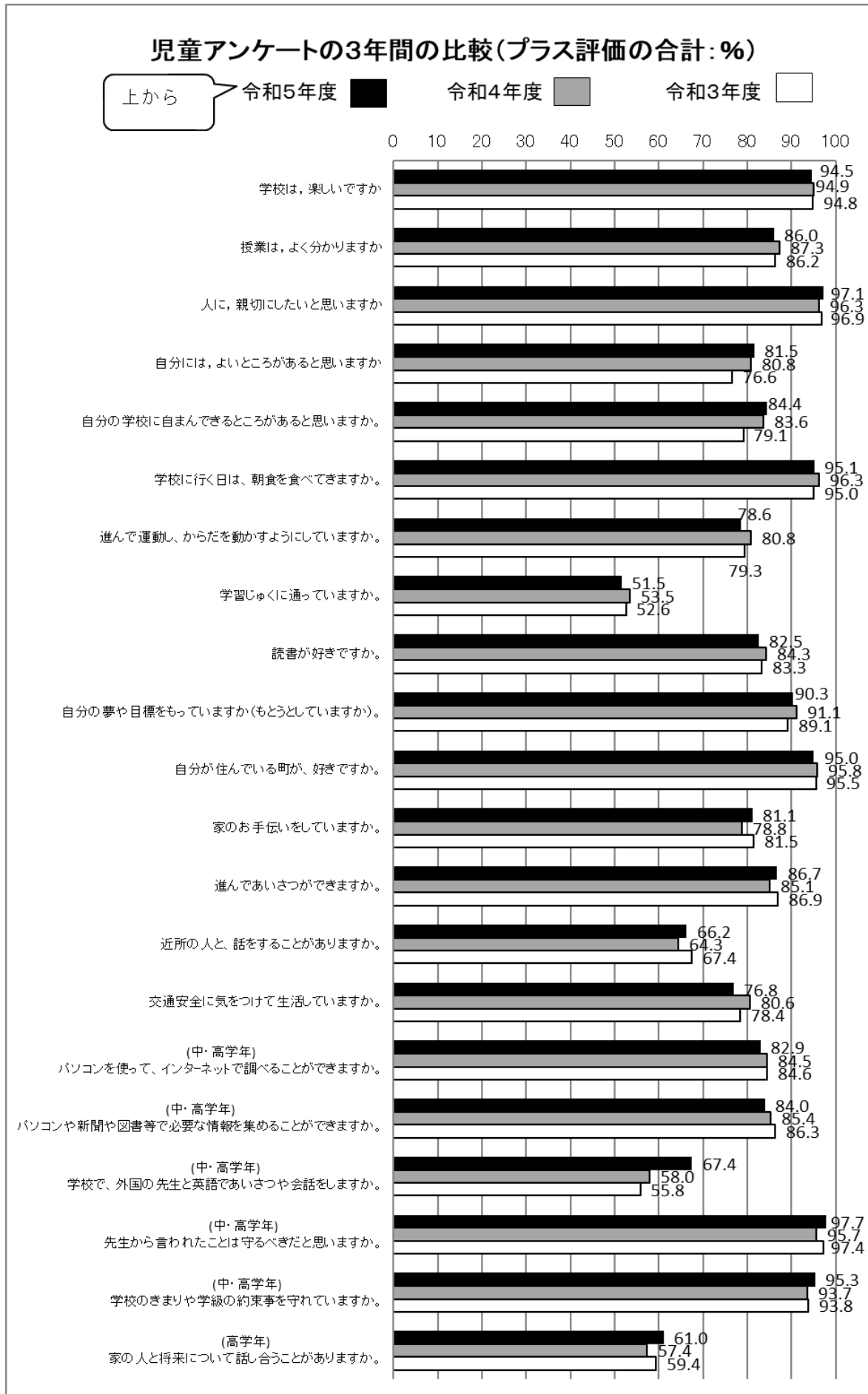
■ 令和5年度

□ 令和4年度

□ 令和3年度



資料2 <児童アンケートの3年間の比較>



資料3 <教師アンケートの3年間の比較>

